

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年1月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100526
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム うすき
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目13番17号 (電話) 099-255-2835
自己評価作成日	平成23年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

<http://kaken-shakyo.jp/kohyo>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・工業地帯内の立地ではありますが、静かで落ち着いた生活を送っていただける環境です。
- ・地域におきましては、町内会の参加により、少しずつ交流を増やしてきております。
- ・小中学校の資源ゴミ回収に協力することで、入居者と若年層の交流を図っております。
- ・近隣に大型のショッピングセンターが多数ありますので、スタッフと入居者での買い物を兼ねた、気分転換の外出も実施しています。
- ・敷地内の前庭も広いので、歩行訓練を兼ねて外気浴を実施しやすい環境です。
- ・スタッフの年齢層が広いので、それぞれの年代ならではの特性を介護に活かしていきたいと思います。

- ・ホームの近くにはマンションや工場が多く立ち並んでおり、ホームが災害の場合は、避難や救助について近くの工場に協力を要請している。
- ・町内会に加入し地域のリサイクル活動に参加したり、事業所の行事の案内や見学を兼ねて誕生会に踊りを披露してもらったりして、日常的に地域との交流を行っている。
- ・若い職員が多く、安定して働きやすい職場である。積極的な意見や提案がされ、それらを検討して新しい取り組みを行いながら、日々のケアを行っている。研修会等に積極的に参加しており、資格への挑戦がしやすいように協力体制もできている。
- ・運営推進会議は定期的に開催し、家族の参加者が多い。ホーム便りを季節ごとに発行している。また市の窓口にも毎月出かけて、担当者とよく連携を取って協力関係を築いている。

グループホーム うすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内各所に掲出し、毎朝朝礼で唱和し、絶えず確認している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を、玄関やホール等やパンフレットに掲示している。毎日の朝礼でも唱和し確認しながら日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小中学校のリサイクル活動に協力している。自治会に加入し、町内会の活動に参加している。	町内会に加入しており、地域のリサイクル活動に参加したり、文化祭に利用者の作品を出展している。町内会の踊りのグループが誕生会に見学を兼ねて参加したり、ボランティアの受け入れを行って、地域と日常的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等や施設の行事を通して、地域の方々との交流を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの実施状況などを報告し意見や提案をいただき、サービスに繁栄できるように、努めている。	定期的に会議を開催し、利用者の状況や外部評価の報告等を行い、出された意見から外出先での家族との交流のし方の選択肢を広げるなど、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	主に生活保護受給者について、市の担当者と定期的に連絡・相談を行っている。	市の担当窓口に定期的に出かけて行き、担当者に報告や相談したりしている。介護相談員の受け入れも行って、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職場内研修を通して、身体拘束の意味を全職員が理解するよう、努力している。身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員が、毎月の職員会議の折に話題を提供して、身体拘束をしないケアに取り組むように確認している。日中、玄関の施錠はせずに、職員の目配り気配りで自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職場内研修を通して、どのようなことが虐待となるのかを理解するよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職場内研修の中で、テーマにあがったことはあるが、全職員が理解するところまでは至っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に管理者から説明を行っている。充分な理解をいただいている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に苦情相談の受付の箱を設置している。ご家族の面会時や運営推進会議で意見を求めている。	管理者・職員は、家族の意見や要望等を面会時や運営推進会議の折に把握するようしている。また、利用者の意見や要望は、日々の会話の中から聴取して、運営に反映させている。苦情・相談箱を玄関に設置している。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議を毎月実施し、職員からの意見を聞くほか、随時管理者・責任者と意見交換している。	代表者・管理者は、毎月の職員会議等の中で、職員の意見や要望を聞きながら運営に反映させるように努めている。意見は活発に出され、地域資源の活用等の意見について、具体的に検討されている。		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	できる範囲で、スタッフの休暇の希望を受け入れている。資格取得に関して必要な勤務作成に努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の各種研修に、スタッフの選択を充分考慮して参加させている。			
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと連携して行事を開催するように努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の見学を充分していただいている。入居後も今までの生活のレベルを維持できるよう考慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にできるだけ家族の不安を聞き取り、具体的な対応を説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始後、心身の状態を見極めた、慎重な支援の開始を心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの心身の状態を考慮して上で、できることをしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に少しでも本人と家族がゆっくりとくつろげるよう配慮している。			
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の承諾を得た上で、面会や外出を推奨している。	利用者の行きつけのスーパー・マーケットへの買い物や理美容院や病院受診等を支援して、馴染の関係が途切れないように努めている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席や入浴の順番などを考慮し、トラブルの発生の無いよう良い関係ができるよう支援している。			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローシ、相談や支援に努めている	入院中の方を見舞ったり、お亡くなりになった方のご家族との交流を持つなどしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者一人一人の発言や表情等をよく観察して、本人の意向や希望を汲み取るようにしている。</p>	<p>日々の支援の中で、声をかけたり会話や表情から、思いや暮らし方の希望等の把握に努めている。困難な場合には、本人本位に職員や家族の意見を基に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人との会話や家族との面談から、生活暦を聞き取っているが、すべてをオープンにされるのは困難である様子がある。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>それぞれの方の心身の状態に応じて、又その変化に応じて日課を臨機応変に変更して、対応している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>必要に応じてそのつど話し合うほか、定期的に個別のケアカンファレンスを実施している。</p>	<p>定期的にケアカンファレンスを行い、職員・家族・本人等と話し合って、意見やアイディアを出してもらい、現状に即した介護計画を作成している。定期的に個別のモニタリングも行って、見直している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	できるだけ、本人の思いが伝わるように、本人の言葉で記入するように、心がけている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診の付き添いや、必要な物品の購入など、必要に応じて代行する支援を行っている。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問のヘアカットやフットケア、訪問のマッサージなど、他の事業所との連携を行っている。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本位の受診ができるよう、本人と家族の望む医療機関で医療を受けていただいている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。往診もあり、かかりつけ医との連携が取れており、適切な医療を受けられるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員がいない。かかりつけの医療機関や薬剤師との電話連絡で対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に面会し、最新の状態を把握するようしている。早期に退院できるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	入居の段階や機会を見て、重度化や終末期の施設としてできることできないことの説明をして、了解を得ている。	重度化・終末期について、本人や家族と話し合いを行い、事業所としての対応について説明している。事業所としての方針・指針の作成を計画中である。	方針・指針の作成を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを掲出している、いざというときにあわてないように指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	主に、火災を想定した避難訓練を実施している。地震や津波の被害も心配されるので、訓練の項目に入れている。	火災・地震を想定して、年2回、消防署の指導を受けながら、昼夜想定で避難訓練を実施している。スプリンクラーの設置もある。近隣の工場に、災害時の協力を要請し、物品の備蓄もされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>排泄の失敗時などに、本人のプライバシーを考慮している。他の入居者の目に触れにくい努力をしている。</p>	<p>利用者の誇りやプライドを損ねないように、特に入浴や排泄時の言葉かけや対応に、気を配りながらプライバシーに配慮したケアを行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者自身が思いや希望を表現しやすいように、日常のお話をよく伺うようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の本人の状態に応じて、スケジュール通りではなく、ゆったりとすごしていただくようしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時や入浴後などは特に気をつけている。行事参加時などはお化粧もしていただいている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとり好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立によっては、皮むきなどを手伝っていただいている。盛り付けなどもできる方には協力していただいている。</p>	<p>利用者は、庭で育てた野菜を使用したり、皮むきや盛り付け・台拭き等、職員と一緒に食事の準備を行い、食事が楽しみになるように支援を行っている。誕生日には、本人の希望するメニューにしたり、外食に出かけたりしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量をチェック表で把握するほか、水分量の心配な方はその都度補給している。			
42	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	この状態に応じて適切な方法で、口腔ケアの介助にあたっている。必要に応じて歯科受診をしている。			
43 16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各入居者に応じた排泄環境を検討し、できるだけ自身の機能を生かした排泄ができるよう心がけている。	排泄チェック表で、一人ひとりの排泄パターンを把握し、様子を見ながら声かけやトイレ誘導を行っている。利用者の排泄の段階に応じて、自立に向けた排泄支援を行っている。		
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量、水分量、運動などの要素の確認と、下剤の効果的な使用で、円滑な排便コントロールができるように努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者それぞれのペースにあわせてゆったりと入浴していただけるよう考慮している。その人に合ったシャンプーソープを選択している。	入浴を楽しみにしている利用者が多く、順番やペースを見ながら本人に合わせて個浴の介助を行っている。入浴剤を使用したり、個々に合わせた石鹼を使ったりして、入浴が楽しみになるように支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じた休息が取れるように、夜間に限らず休んでいただくようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬、臨時処方それぞれに間違いのないよう、職員間で申し送りを行う。薬の説明書を確認する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個性を尊重し、画一的にならないように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	病院受診や家族との外出外泊のほか、機会を作つてなるべく外の空気に触れていただくようしている。	日常的には、散歩や買い物に出かけている。外食や花見・仙巖園・都市農業センター等、家族とともに出かけるなど、できるだけ外出する機会を多くもてるよう支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを家族からお預かりしているので、その範囲で本人の希望に沿う使い方をするようしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の使用は制限をしていないほか、年賀状等も介助により出していただいている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソファを4箇所に設置しくつろいでいただいている。装飾が派手にならないよう考慮して、季節感のある飾り付けをしている。	玄関や居間は、明るく広い空間になっている。また、ソファーが置かれ、利用者同士がくつろげるようになっている。季節の飾りや花などが活けてあり、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや廊下に設置した4箇所のソファでゆっくりとくつろぐ姿が見られている。			
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れたものを居室内に置くことにより、安心した居室となるように考慮している。	布団やタンス・椅子・写真・時計・人形等、使い慣れたものや好みの物が置いてある。利用者ごとに個性が尊重されて、本人が居心地よく過ごせるような工夫がされている。		
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用のスペースはもちろんであるが、ここの居室内の環境整備をして、安全の保持に努めている。			

V アウトカム項目 グループホーム うすき 1ユニット

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない